

第二世代デュアル・クラッチ・トランスミッション | エンジンの特徴

●第二世代デュアル・クラッチ・トランスミッション

開発チームは「成熟した走りのテイストを追求しつつ、軽量・コンパクトなレイアウト」を目指すというコンセプトに合致する第二世代のデュアル・クラッチ・トランスミッションを徹底的に議論し、戦略的に模索してきました。

その2つの方向性として、

①デュアル・クラッチ・トランスミッションの進化

既存のデュアル・クラッチ・トランスミッション技術のさらなる進化

②開発コンセプトを実現する最適な仕様の模索

成熟した走りのテイストを表現するために必要な仕様の変更

と設定しました。

①デュアル・クラッチ・トランスミッションの進化

・ハードウェア

油圧回路のシンプル化を図り、より応答性が高く、限りなくシームレスな特性を目指すために、右側カバーにリニアソレノイドバルブを内蔵するなど、油圧回路長を40%短縮させるとともに、外側配置のリニアソレノイドに比べて大幅なコストダウンも実現しています。

・ソフトウェア

デュアル・クラッチ・トランスミッションの選択された各モードに、学習機能を追加し、街中を走行しているのか、峠道なのかを判断し、最適な変速制御を自動的に行います。さらに、オートモード走行中に加速・減速のために、ライダーがギアシフトに介入した場合はその意志を優先しますが、その後一定の条件下で再びオートモードに戻る復帰機能を追加し、多様な走りにも適合させています。